

法律（国際法）

ベーシック条約集（2012年版）

田中則夫・葉師寺公夫・坂元茂樹編集代表

ISBN 978-4-7989-0105-3 C3032 [2012] 四六・1272頁・2600円

激動する国際関係理解に必須のロングセラー。主要条約等全292件を網羅した充実の最新年次版。

【主要目次】1. 国際機構 2. 国家 3. 個人 4. 条約 5. 海洋 6. 空域 7. 国際化地域 8. 環境 9. 国際経済 10. 外交機関 11. 国際犯罪 12. 紛争の平和的解決 13. 安全保障 14. 軍備の規制 15. 武力紛争 16. 平和の回復 17. 国際法関係資料

判例国際法（第2版）

松井芳郎編集代表

ISBN 4-88713-675-7 C3032 [2000] A5・736頁・3800円

最新ケースを含め全185件の代表的判例を分類・網羅した待望の第2版。使いやすい必備の判例集。

【主要目次】国際法の法源 国際法と国内法の関係 国際法の主体 領土 海洋法 外国人の法的地位 個人の地位 国家機関 条約 国家責任 環境の保護 紛争の平和的解決 平和と安全の維持 武力紛争法

ハンディ条約集

松井芳郎編集代表

ISBN 978-4-88713-899-5 C3032 [2009] 四六・496頁・1600円

今日の世界理解に不可欠な最重要条約を厳選収録。価格も廉価に設定し初学者学習に最適の新版。

【主要目次】1. 国際機構 2. 国家 3. 個人 4. 条約 5. 海・空・南極 6. 環境 7. 国際経済 8. 外交機関 9. 国際犯罪 10. 紛争の平和的解決 11. 安全保障 12. 軍備の規制 13. 武力紛争 14. 平和の回復 15. 国際法関係資料

国際人権条約・宣言集（第3版）

松井・葉師寺・坂元・小畑・徳川編

ISBN 4-88713-637-4 C3032 [2005] A5・1024頁・3800円

益々重要性を増す国際人権に関する主要文書を関連国内法多数を含め網羅した待望の最新版。

【主要目次】普遍的な条約・宣言 地域的な基本条約・宣言 自決権 少数者・先住民の権利 差別の撤廃 ジェンダー 人身の自由 刑事手続 国籍・外国人 難民・庇護（ほか）

国際機構条約・資料集（第2版）

香西茂・安藤仁介編

ISBN 4-88713-455-X C3032 [2002] A5・512頁・3200円

世界・地域・専門等各種の国際機構に関する必須の条約・資料を収録。大增頁した待望の第2版。

【主要目次】1 国際連合（前史 国際連合憲章 加盟国の法的地位 組織と機能 国際司法裁判所 国際機構条約） 2 専門的国際機構（国際連合専門機関 その他） 3 地域的機構（欧州その他 米州 アラブ 東南アジア アフリカ）

国際法から世界を見る（第3版）

市民のための国際法入門

松井芳郎著

ISBN 978-4-7989-0080-3 C3032 [2011] A5・360頁・2800円

初版以来増刷を重ね、市民の目線で国際法の意義と役割を説いてきたロングセラーの最新増補版。

【主要目次】1. 国際法はどのように発展してきたのか？ 2. 現代国際法はどのような特徴を持っているか？ 3. 国際法はどのように創られ、どのように適用されるか？ 4. 主権国家はどうなるの？ 5. 地球の空間はどのように配分されているか？ 6. 東と西？ 南と北？ 7. 国際法で個人を裁く？ 8. 国際法を縁にする？他全13回

国際法

浅田正彦編

ISBN 978-4-7989-0054-4 C3032 [2011] A 5・512頁・2900円

最新かつスタンダードな内容を具え、豊富な事例と敷衍的解説等、学習に至便な最新テキスト。

【主要目次】1. 国際法の基本構造 2. 法源・慣習法 3. 条約法 4. 国家の成立 5. 国家の基本的権利義務 6. 国家機関 7. 国際機構 8. 国家領域 9. 国際化地域・空域・宇宙空間 10. 海洋法 11. 個人と国際法 12. 人権の国際的保障 13. 国際経済法 14. 国家責任法 15. 国際環境法 16. 紛争解決 17. 国際安全保障 18. 武力紛争法

国際法 はじめて学ぶ人のための(新訂版)

大沼保昭著

ISBN 978-4-88713-831-5 C3032 [2008] A 5・680頁・3600円

従来にない国際法の動的把握で注目を集めた著者初の本格的テキスト。全頁にわたり初版を改訂。

【主要目次】国際社会における法国際法のあり方—国際法の認識根拠国家その他の国際法関与者国家の違法行為と責任地球の領域的秩序国籍人権—国際・民衆・文際的保障世界経済と国際法地球環境と国際法紛争の解決と国際法武力の規制と平和の維持・実現武力紛争法

資料で読み解く国際法(第2版)上

大沼保昭編著

ISBN 4-88713-460-6 C3032 [2002] A 5・464頁・2800円

多彩な資料を問題ごとに配列、現実の国際社会で働く「生きた国際法」を学ぶうる充実のテキスト。

【主要目次】1. 国際社会における法 2. 国際法の定立とその存在形態 3. 国家その他の国際法主体 4. 領域 5. 国籍 6. 国際人権保障 7. 国際経済と法 8. 地球環境と法 9. 国際責任

資料で読み解く国際法(第2版)下

大沼保昭編著

ISBN 4-88713-461-4 C3032 [2002] A 5・256頁・2000円

上下2巻に再編した「生きた国際法」。下巻は、紛争処理、安全保障と武力紛争、軍縮等を網羅する。

【主要目次】10. 国際紛争の平和的処理 11. 平和の維持・実現と集団安全保障 12. 武力紛争法 13. 軍縮

プラクティス国際法

香西茂・竹本正幸・坂元茂樹編著

ISBN 4-88713-291-3 C3032 [1998] A 5・176頁・1900円

的確な解答を導く解説、解答のポイント等、司法・外交官試験受験者はじめ学徒必携のテキスト。

【主要目次】1. 国際法の概念 2. 国際法の成立形式 3. 条約法 4. 国際法の主体 5. 国家の成立 6. 国家機関 7. 国家の基本的権利義務 8. 国家責任 9. 国家領域と国際化地域 10. 海洋法 11. 空 12. 個人の保護と国際犯罪 13. 開発と環境 14. 紛争の平和的解決 15. 平和と安全の維持 16. 武力紛争法

国際法新講(上)

田畑茂二郎著

ISBN 4-88713-112-7 C3037 [1990] A 5・400頁・2900円

増刷の度に新データを加えた依然アップ・トゥ・デートなテキスト。外交官・司法試験の必読書。

【主要目次】総論：1. 国際法の歴史的形態 2. 国際法の法制的性質 3. 国際法規の諸形態 4. 国際法と国内法の関係 本論：1. 国際法の主体 2. 管轄の場所的範囲 3. 管轄の人的範囲 4. 国際関係における国家機関 5. 条約

国際法新講(下)

田畑茂二郎著

ISBN 4-88713-128-3 C3032 [1991] A 5・320頁・2600円

激動の世界情勢下国際法の重要性が高まる今日、本書の意義は大きい。国際法テキストの白眉。

【主要目次】1. 国際法上の違法行為 2. 国際紛争の平和的処理方法 3. 安全保障 4. 戦争と中立

国際法 I

高林秀雄・山手治之・小寺初世子・松井芳郎編

ISBN 4-88713-110-0 C3032 [1990] A 5・368頁・2600円

気鋭の執筆陣による新しい国際法テキスト。統一
的視点から簡潔平易に諸分野を解説・展望する。

【主要目次】1. 総論 2. 国際法主体としての国家 3. 国際法
における個人 4. 国際機構（その1） 5. 国際機構（その2）
6. 国家領域および特殊地域 7. 国際関係における国家機関

国際法 II

高林秀雄・山手治之・小寺初世子・松井芳郎著

ISBN 4-88713-111-9 C3032 [1990] A 5・288頁・2100円

各章最新の研究状況を反映し、激動する世界情勢
下の国際法の今日的意義及び位置を的確に論述。

【主要目次】1. 条約法 2. 国際責任 3. 国際紛争の平和的解
決 4. 安全保障 5. 武力紛争法

21世紀の国際法秩序

ポスト・ウェストファリアへの展望

R. フォーク著・川崎孝子訳

ISBN 978-4-7989-0008-7 C3032 [2011] A 5・344頁・3800円

19世紀以来の主権国家本意の国際法の刷新を求
め、新たな地球市民の法—地球法への転換を展望。

【主要目次】1. グロテウスの時 2. 世界秩序 3. 国連、法の支
配、人道的介入 4. 人道的介入の複雑性 5. グローバル化の
時代における環境保護 6. 海洋の平和な未来とは？ 7. 核
兵器、国際法、そして世界法廷 8. 核兵器に関する勧告的意
見と地球市民社会の新しい法体系 9. 来るべき地球文明
10. グローバル化時代における人道的統治の探究

国際法と共に歩んだ六〇年

学者として裁判官として

小田滋著

ISBN 978-4-88713-919-0 C3032 [2009] A 5・440頁・6800円

長年の国際司法裁判所裁判官初めまさに国際法と
共に生きた著者が豊富な体験を語る歴史の一冊。

【主要目次】第一部 国際法学者として—東北大学教師25年
(1950—1976) 第二部 国際司法裁判所裁判官に就任—二期
目の9年(1976—1985) 第三部 国際司法裁判所裁判官二期
目の9年—(1985—1994) 第四部 国際司法裁判所裁判官三
期目—最後の9年間のオランダ(1994—2003)

国際法学の地平

中川淳司・寺谷広司編

ISBN 978-4-88713-870-4 C3032 [2008] A 5・840頁・12000円

現在国際法学が抱える多岐に亘る根幹の問題点に
25名の論者が全力で肉迫した、最先端研究論集。

【主要目次】第1部 文明、正義、理論 第2部 歴史 第3部
人権 第4部 経済、労働、環境 第5部 紛争解決、国際裁判、
戦争責任

グローバル化する世界と法の課題

平和・人権・経済を手がかりに

松井芳郎・木棚照一・薬師寺公夫・山形英郎編集委員

ISBN 4-88713-664-1 C3032 [2006] A 5・608頁・8200円

グローバル化の進展の中、世界と国際法が直面し
ている諸課題を多角的に論じた充実の論考集。

【主要目次】1. グローバル化する世界における国際法理論の
再検討 2. 経済活動のグローバル化と法の対応 3. グロー
バル化する世界における個人の保護と責任 4. 特別寄稿
資料(山手治之先生略歴・主要著作目録)

国際法研究余滴

石本泰雄著

ISBN 4-88713-641-2 C3032 [2005] A 5・304頁・4700円

その学問と人間性の豊かな光沢を如実に伝える単
行本未収録の論考、書評、エッセイ等を多数収録。

【主要目次】第1部 国際法の基礎 補論(戦争と現代国際法
国際法と国内法の関係 ほか) 第2部 時論片々(日米安保体
制 日韓関係 ほか) 第3部 著書紹介(田畑茂二郎著『国際
社会の新しい流れの中で』 高野雄一著『教義国際法—明日の
国際社会と日本』 ほか) 第4部 随感有理(野狼弄舌 青い
表紙の雑記帖)

国際社会の法構造：その歴史と現状

21世紀における人権と平和：国際法の新しい発展をめざして(上)

山手治之・香西茂編

ISBN 4-88713-486-X C3032 [2003] A 5・416頁・5700円

人権と平和を軸とした国際法の構造転換—故田畑教授が追求し続けたこの問題をめぐる追悼論集上巻。

〔主要目次〕I部 国際法学の理論的課題(社会科学としての国際法学 国際法の法源論の新展開 他4章) II部 国際法における国家と個人(条約承継条約と最近の国家実行 国際法委員会「国家責任条文」における私人行為の国家への帰属 他2章)

現代国際法における人権と平和の保障

21世紀における人権と平和：国際法の新しい発展をめざして(下)

山手治之・香西茂編

ISBN 4-88713-487-8 C3032 [2003] A 5・480頁・6300円

現代国際法の核心をなす二主題を上巻を引き継ぎ具体的な・多角的に追求。考察の充実の追悼論集下巻。

〔主要目次〕I部 人権の国際的保護の展望(人権条約の実施課題 他3章) II部 紛争処理手段の新しい役割(国際司法裁判所の勧告的意見の意義 他3章) III部 国際機構による平和の保障(国連による紛争解決機能の変容 他3章) IV部 軍縮国際法の現段階(軍縮条約の交渉・起草過程の特徴 他1章)

国際立法

国際法の法源論

村瀬信也著

ISBN 4-88713-436-3 C3032 [2002] A 5・784頁・6800円

法源論の立場から国際立法の意義、実態、問題点等、理論と実際を統合し詳論。わが国初の本格的な研究。

〔主要目次〕1. 法源論の諸相—序論的考察 2. 条約と慣習法 3. 国際立法の存立基盤 4. 国際立法の展開 5. 国際環境立法 6. 国際立法と紛争処理 7. 国際立法と国内法

僭主に対するウィンディキアエ

神、公共的国家、人民全体それぞれの権利(エス)の回復を僭主に抗して請求する

ブルトウス著 城戸由紀子訳

ISBN 4-88713-300-6 C3031 [1998] A 5・368頁・3600円

16世紀、宗教戦争の過中に出現、立憲主義、社会契約説の源として著名な古典のわが国初の翻訳。

〔主要目次〕邦訳刊行にあたって 凡例 序文 本文：設問 I 設問II 設問III 設問IV 原注 訳注 訳者解説 参考文

現代国際法の課題

田畑茂二郎著

ISBN 4-88713-137-2 C3032 [1991] A 5・224頁・3200円

国際社会の激動と共に変貌を続ける現代国際法の、最新の核心的諸問題を解明した論考集。

〔主要目次〕1. 国家主権観念の現代的意義 2. 近代国際法から現代国際法へ 3. 植民地体制の崩壊と民族自決権 4. 天然の富と資源に対する永久的主権 5. 人権の国際的保護 6. 人権問題の国際化の提起するもの 7. 人権と民族自決権 8. 内戦と国際法、他3章

国際法の新展開

太寿堂鼎先生還暦記念

林久茂・山手治之・香西茂編

ISBN 4-88713-103-8 C3032 [1989] A 5・448頁・5800円

著しい変貌・発展を続ける国際法の諸局面を、各分野専門研究者が詳細かつ鋭利に追究した意欲編。

〔主要目次〕I部 国家の管轄権と法の域外適用(1編) II部 条約法(2編) III部 国際機構(1編) IV部 民族自決権(2編) V部 政府承認と国家承継(1編) VI部 領空と宇宙(1編) VII部 国際人権法(2編) VIII部 安全保障と軍縮(2編)

国際社会の新しい流れの中で

—国際法学徒の軌跡

田畑茂二郎著

ISBN 4-88713-083-X C3032 [1988] 四六・256頁・2300円

斯界のバイオニアが、常に国際社会と日本の動向に関わりつつ展開してきた半世紀の貴重な研究史。

〔主要目次〕1. 回想—大正ロマンティズム、そのあとに来るもの 2. 戦間期国際法学の動向 3. 戦後国際法学の軌跡 4. 国際法学者としての社会活動など 5. 人権問題の国際的展開〔付〕略年譜・著作目録

難民問題と連帯

EUのダブリン・システムと地域保護プログラム

中坂恵美子著

ISBN 978-4-7989-0013-1 C3032 [2010] A5・208頁・2800円

今日の世界共通の問題群・難民問題へのEUの制度的取組の現状を紹介し将来への展望を拓く。

【主要目次】 1. EU/ECにおける人の自由移動の発展と欧州共通庇護政策の発展の概要 2. ダブリン・システムの内容と実績 3. ダブリン・システムの争点 4. 対外的側面 補章 市民社会のネットワーク形成 おわりに

ワークアウト 国際人権法

W. ベネデック編 中坂・徳川編訳

ISBN 978-4-7989-0002-5 C3032 [2010] A5・328頁・3000円

豊富な事例を通じ隠れた侵害も見通す真の人権理解に必須の強靱な創造力を培う名著待望の翻訳。

【主要目次】 I 「人権」という概念を理解するための序論 II 人権に関する諸問題の構成要素 1. 拷問の禁止 2. 貧困からの自由 3. 無差別 4. 健康に対する権利 5. 女性の人権 6. 法の支配と公正な裁判 7. 宗教の自由 8. 教育についての権利 9. 子どもの人権 10. 武力紛争における人権 11. 労働の権利 ほか

宗教と人権

国際法の視点から

N. レルナー著 元百合子訳

ISBN 978-4-88713-829-2 C3032 [2008] A5・336頁・3800円

現代焦眉の課題、宗教的対立を超えた「共生」に関し具体的事例の下明晰な考察を展開した力作。

【主要目次】 1. はじめに 2. 宗教と信念の法的意味 3. 国連における宗教的人権 4. 1992年「国連マイノリティ権利宣言」 5. 宗教的人権の地域的保護 6. 迫害と扇動からの宗教的集団の保護 7. 改宗の勧誘と宗教の変更 8. 宗教とテロリズム 9. 非宗教的人権観 10. 宗教的標章 11. 国家と宗教的共同体 12. ローマ教皇庁とイスラエル

共生時代の在日コリアン

国際人権30年の道程

金東勲著

ISBN 4-88713-575-0 C3032 [2011] 四六・272頁・2800円

国際人権法の普遍的適用と人権教育の徹底を通じを共生社会実現をめざす著者長年の営為を凝集。

【主要目次】 第1部 国際人権法と在日韓国人・朝鮮人（人権保障の国際化と在日韓国人・朝鮮人 在日韓国・朝鮮人の法的地位と国際人権法 ほか） 第2部 多民族共生社会を目指して（多民族・多文化社会と在日韓国・朝鮮人 共生の時代とマイノリティ ほか） 第3部 朝鮮半島の人権と平和（韓国の社会発展と人権・民主化活動 ほか）

在日韓国・朝鮮人の国籍と人権

大沼保昭著

ISBN 4-88713-571-8 C3032 [2009] A5・400頁・3800円

52年に行われた「在日」の人々の日本国籍剥奪—その不法と不当を剔抉した幻の論考、遂に単行本化。

【主要目次】 序章 問題の所在 1. サンフランシスコ平和条約発効に伴う日本国籍喪失の論理 2. 領土変更と国籍変更の関係—歴史的分析 3. 日朝関係における国籍・入管法制 4. 結び（現行国際法における国籍の観念 在日朝鮮人の法的地位）

国際人権法とマイノリティの地位

金東勲著

現代国際法叢書

ISBN 4-88713-504-1 C3032 [2003] A5・400頁・3800円

絶えることのない迫害と差別に抗し発展する少数者の権利確保の歩み—著者ライフワークの集大成。

【主要目次】 序章 国際人権法の基本的課題（国内事項不干渉の原則と人権問題 ほか） 1. マイノリティの地位と権利（国際人権法とマイノリティの権利 ほか） 2. 外国人の地位と権利（国際人権規約と定住外国人の生存権 ほか） 3. 人種差別の撤廃とマイノリティ・外国人差別（人権の国際的保護と人種差別撤廃条約 ほか） 4. 資料編

国際人権規約先例集

規約人権委員会精選決定集 第1集

国際人権規約翻訳編集委員会編

ISBN 4-88713-094-5 C3032 [1989] A5・264頁・2800円

世界人権宣言40周年に当たり、解説論文5編を付し、『精選決定集』を初訳。実務家等必携の資料。

【主要目次】 1部：1. 国際人権規約の意義とその背景 2. 国際的保障の歴史と意義 3. 日本の国際人権レベル 4. 通報手続の処理過程と経過 2部：国際人権規約先例集：1. 通報が許容されると宣言された決定 II. 審議中止・中断の決定 III. 本案

国際人権規約先例集Ⅱ

規約人権委員会精選決定集 第2集

宮崎繁樹編・訳

ISBN 4-88713-220-4 C3032 [1995] A 5・464頁・7767円

1990年国連より刊行の『決定集』第2集を編集翻訳。委員会対応の複雑化に鑑み、事例毎に解説を付す。

【主要目次】1部 許容性審査：1通報者・被害者の適格性 2侵害の主張の立証 3規約規定との両立性、他3章 Ⅱ部 本案審査：1死刑・恣意的殺害 2拷問・非人道的扱い 3恣意的な逮捕・拘禁 4公正な裁判 5失踪、他8章 Ⅲ部 資料編

単一民族社会の神話を超えて(新版)

在日韓国・朝鮮人と出入国管理体制

大沼保昭著

ISBN 4-88713-174-7 C3032 [1993] 四六・512頁・3689円

日本社会に支配的な単一民族的志向を鋭く批判し好評の前版に、資料編等大幅増補した待望の新版。

【主要目次】Ⅰ：基本的人権とは特権か、他2編 Ⅱ：変わったもの変らぬもの、他2編 Ⅲ：「外国人の人権論」再構成の試み、他

なぐられる女たち

世界女性人権白書

米国国務省編著 有沢・小寺・鈴木・米田訳

ISBN 4-88713-321-9 C3032 [1999] A 5・288頁・2800円

日本を含む世界189カ国4地域の女性への暴力・差別の実態と法の適用状況の最新・詳細レポート。

【主要目次】1. 東アジアと太平洋(日本等29カ国・3地域) 2. 南アジア(インド等8カ国) 3. 中近東・北アフリカ(イラン等18カ国・1地域) 4. ヨーロッパ・北米(ロシア等53カ国、除パチカン市国、米国) 5. アフリカ(南アフリカ等48カ国) 6. 中南米(チリ等33カ国)

人権法と人道法の新世紀

竹本正幸先生追悼記念論文集

藤田久一・松井芳郎・坂元茂樹編

ISBN 4-88713-417-7 C3032 [2001] A 5・432頁・6200円

近年発展・変貌の著しい国際法二分野の第一線研究者を結集した研究者・学徒必読の一冊。

【主要目次】1. 総論—国際法と人道(現代国際法における人道的干渉、他1章) Ⅱ. 人権法の発展(内戦終結プロセスと人権保障、他3章) Ⅲ. 平和の展望(国連によるイラク・クウェート間の境界画定と問題点、他2章) Ⅳ. 人道法の展開(1977年ジュネーブ諸条約追加議定書への参加をめぐる諸国の態度、他1章)

国際人道法の再確認と発展

竹本正幸著

ISBN 4-88713-241-7 C3032 [1996] A 5・384頁・4800円

戦後人権概念の国際的広がりに対応し進められている交戦法規の再検討の現状を詳細・多角的に論考。

【主要目次】1部 戦争法の再検討：1. 陸戦における私有財産尊重の原則 2. ヘーグ陸戦規則と原油の押収 3. 戦時一般住民の被る危険を制限するための規則案、他 Ⅱ部 国際人道法の発展と履行確保：6. 際人道法の問題状況 7. 1949年ジュネーブ諸条約に追加される二つの議定書、他

国際機構法の研究

中村道著

ISBN 978-4-88713-928-2 C3032 [2009] A 5・522頁・8600円

長年にわたり国際機構法の研究を精緻に積み上げてきた第一人者の論考を集大成した必読の遺著。

【主要目次】第1部 国際機構 第2部 米州機構【資料編】1 米州機構憲章の改正2 米州機構憲章の改正(カルタヘナ議定書)3 米州機構憲章の改正(ワシントン議定書・マナグア議定書)4 米州機構の平和的解決関係文書

21世紀の国際機構：課題と展望

安藤仁介・中村道・位田隆一編

ISBN 4-88713-556-4 C3032 [2004] A 5・592頁・6800円

国家・管轄権・人権・安全保障等多面的な現代国際法の課題を気鋭研究者15人が分析・解明する。

【主要目次】第1部 国際機構の新展開(国際連合と民主主義 国際連合と地域的機構 国際機構の法的権能と設立文書の法的性格ほか) 第2部 国際平和の維持と回復(国連平和維持活動における同意原則の機能「並行展開」の実績と課題 国連の軍事的活動に対する武力紛争法の適用ほか) 第3部 国際社会の協調と安定(アフリカ統一機構/アフリカ連合と人権 イラン・アメリカ請求権裁判所ほか)

国際機関資料検索ガイド

川鍋道子著

ISBN 4-88713-505-X C3032 [2003] A 5・224頁・2500円

国連機関はじめ、多数にわたる国際機関につき、HP等全ての検索方法を網羅。学生・研究者必携。

〔主要目次〕第1部 国際連合(国連資料について 国連の事柄・決議・議事録 ほか) 第2部 国連専門機関資料(国連専門機関 国連関係自治機関 ほか) 第3部 ヨーロッパの国際機関(欧州連合 欧州評議会) 第4部 その他の地域的国際機関(経済協力開発機構 その他のおもな国際機関 ほか)

条約法の理論と実際

坂元茂樹著

第38回 安達峰一郎賞受賞

ISBN 4-88713-555-6 C3032 [2004] A 5・432頁・4200円

日本が当事国の諸ケースを軸に、今日の条約法が内包する問題群を新たな視点から整理・追究。

〔主要目次〕第1部 総論 第2部 条約の留保 第3部 条約の解釈 第4部 条約の無効 第5部 紛争解決

条約法の理論

小川芳彦著

ISBN 4-88713-109-7 C3032 [1989] A 5・336頁・3600円

急逝された著者の、すでに定評ある条約法分野の業績を体系的に編集した待望の論考集。

〔主要目次〕I部 条約法に関するウィーン条約の研究：1. 総説 2. 条約の締結 3. 条約の留保 4. 条約の無効 II部 条約をめぐる法典化の研究：5. 条約法に関するウィーン条約 6. 条約に関する国家継承に関するウィーン条約、他1章

国際環境法の基本原則

松井芳郎著

ISBN 978-4-7989-0012-4 C3032 [2010] A 5・464頁・3800円

環境法を国際法の中に体系的に位置づけ環境問題への国際法の統合的適用へ途を拓く画期的労作。

〔主要目次〕第I部 総論 1. 国際環境法の概念と歴史 2. 国際環境法の特徴 第II部 国際環境法の基本原則 3. 「国際環境法の基本原則」とは何か 4. 防止の義務 5. 予防原則 6. 持続可能な発展 7. 共通に有しているが差異のある責任 8. 人権としての環境：国際法における環境権 9. 環境保護と自由貿易 ほか

海洋境界画定の国際法

村瀬信也・江藤淳一共編

ISBN 978-4-88713-864-3 C3032 [2008] A 5・240頁・2800円

国家利益に深く関わる海洋境界紛争にまつわる諸問題の歴史とその解決の在り方を多角的に考察。

〔主要目次〕1. 海洋境界画定に関する国際判例の動向 2. 海洋境界画定における比例性概念 3. 海洋境界画定と領土紛争 4. 大陸棚の共同開発 5. 200海里を越える大陸棚の限界設定をめぐる一考察 6. 中越海洋境界画定協定 7. 境界未画定海域の管轄権 8. 国連海洋法条約における海洋境界画定紛争の解決手続 青木 隆

海の国際秩序と海洋政策

栗林忠男・秋山昌廣編著 海洋政策研究叢書

ISBN 4-88713-716-8 C3032 [2006] A 5・320頁・3200円

危機を孕む国際海洋問題に対するわが国今後の方策に大きな示唆をもたらす初の包括的研究。

〔主要目次〕第1部 「海洋政策のダイナミクス」 第2部 「海の安全保障」 第3部 「海洋環境保護に対するアプローチ」 第4部 「海洋資源と利用」 海洋ガバナンスを展望する

国連海洋法条約の成果と課題

高林秀雄著

ISBN 4-88713-249-2 C3032 [1996] A 5・304頁・3200円

国際問題理解と紛争解決に不可欠な「海の憲法」の成立経緯・意義・問題点等詳論した著者の遺著。

〔主要目次〕1. 海洋法の構造変化 2. 第三次海洋法会議の経緯 3. 領海の範囲に関する国際合意の成立 4. 深海底条項実施協定 5. 公海漁業実施協定 6. EEZにおける漁業紛争の取扱い 7. 国際海洋法裁判所の構成と手続 8. EUの海洋法条約への参加

海洋法の新秩序

林久茂・山手治之・香西茂編

ISBN 4-88713-179-8 C3032 [1993] A 5・464頁・6796円

国連海洋法条約が発効、新たな展開の時を迎えたこの分野を第一線研究者が包括的に詳説・展望。

【主要目次】 1. 国連海洋法条約の成立と概要 2. 国連海洋法条約にみられる海洋法思想の展開 3. 領海における通航制度の史的展開 4. 排他的経済水域 5. 大陸棚境界画定準則に関する一考察 6. 公海制度と船舶の地位 7. 深海底開発の現段階、他4章

集団安全保障の本質

柘山堯司編著

ISBN 978-4-88713-964-0 C3032 [2010] A 5・480頁・4600円

武力発動以前の「防止措置」こそ最も肝要だ。その見直しを通じ重層的ガバナンスの構築を追求。

【主要目次】 序章 集団安全保障と防止措置 1. 国際連盟期における防止措置 2. 国際連合発足当初の防止措置 3. 国連総会による防止措置の実行 4. 安全保障理事会によるPKFの実行 5. 集団的介入と防止措置 6. 国連総会の再評価 7. 国連安保理の権限行使に対する司法審査の需要と供給ほか

国連安全保障理事会

その限界と可能性

松浦博司著

ISBN 978-4-88713-920-6 C3032 [2009] A 5・336頁・3200円

元日本政府国連代表部勤務の著者が具体的に詳述する安保理運営の実態とその改革の方途。

【主要目次】 序章 イラク、北朝鮮、アフガニスタンを巡る審議から見た安保理 1. 安保理による紛争介入とその制約 2. 紛争の特徴と紛争への国際的介入 3. 安保理の正統性付与機能 4. 安保理の法的制度 5. 安保理の紛争介入ツール 6. 安保理による紛争介入の歴史的推移 7. 安保理の組織と権力構造 8. 安保理の手続き(文書) ほか

国連安保理の機能変化

村瀬信也編

ISBN 978-4-88713-915-2 C3032 [2009] A 5・224頁・2700円

激変する世界情勢に対峙する安保理の役割と課題を冷戦後の機能変化を中心に検討・考察。

【主要目次】 1. 国連安保理の機能拡大とその正当性 2. 国際テロリズムに対する国連安保理の対応—立法的・行政的機能の拡大 3. 大量破壊兵器の不拡散と国連安保理の役割 4. 安保理決議に基づく経済制裁 5. 国連安保理の機能の拡大と平和維持活動の展開 6. 安全保障理事会による刑事裁判所の設置 7. 安保理決議と日本法 8. 国連安保理の機能変化と安保理改革

自衛権の現代的展開

村瀬信也編

ISBN 4-88713-756-1 C3032 [2007] A 5・320頁・2800円

自衛権をめぐる様々な問題を国際法の観点から実証的に考察。今日的課題に正面から取り組んだ意欲作。

【主要目次】 1. 国連憲章と一般国際法上の自衛権 2. 集団的自衛権と国際法 3. 自衛権行使における必要性・均衡性原則 4. 自衛権と弾道ミサイル防衛の法的根拠 5. 低水準敵対行為と自衛権 6. 自衛の発動要件としての非国家的行為の意味—国際判例の観点からの分析 7. 自衛と域外法執行措置 ほか

大量破壊兵器と国際法

国家と国際監視機関の協働を通じた現代的国際法実現プロセス

阿部達也著

第44回 安達峰一郎賞受賞

ISBN 978-4-7989-0044-5 C3032 [2011] A 5・496頁・5700円

大量破壊兵器の禁止・規制実現のための国家と国際監視機関間の協働の態様を詳細に実証分析。

【主要目次】 1. 前提的考察 2. 遵守の確保 3. 不遵守への対応 4. 適合性の確保 本論のまとめ 主要参考文献 締約国一覧表 索引

軍縮問題入門(新版)

黒澤満編著

ISBN 4-88713-633-1 C3032 [2005] A 5・304頁・2500円

冷戦後の新たな武器拡散問題等、変動する状況を踏まえ好評の前版を全面的に改訂した待望の最新版。

【主要目次】 軍縮の現状と課題 核兵器の削減 核兵器の不拡散 核実験の禁止 非核兵器地帯の設置 化学兵器の禁止 生物兵器の禁止 大量破壊兵器の不拡散 通常兵器の規制と禁止 南極・宇宙・海底での規制 軍縮・不拡散教育

国連の平和外交

M. グールディング著 幡新大実訳

ISBN 4-88713-620-X C3032 [2005] B5・432頁・6000円

冷戦後の約7年、急増・変容期のPKO担当として奔走・尽力した国連事務次官の貴重な回想録。

【主要目次】 第1部 初めての現場派遣 第2部 過去の遺物(キプロス レバノン パレスチナ 人質・拉致事件) 第3部 新たな可能性(雪解け イラク対イラン戦争 ナミビア アンゴラ 西サハラ 中米 カンボジア) 第4部 新たな脅威(崩壊中の国家 イラク対クウェート ユーゴスラビア) 第5部 終りに(教訓を学ぶ)

武力紛争の国際法

村瀬信也・真山全編

ISBN 4-88713-584-X C3032 [2017] A5・896頁・1428円

続発する諸紛争対処へ今こそ新たな国際法の知見が不可欠だ。学界の総力を結集した本格的体系書。

【主要目次】 序章 現代における武力紛争法の諸問題 1. 武力紛争法の基本原則 2. 武力紛争法の適用に関する基本問題 3. 戦闘方法・手段の規制 4. 海上における武力紛争法 5. 武力紛争法の保護対象 6. 武力紛争法の法的帰結

テロ、戦争、自衛

米国等のアフガニスタン攻撃を考える

松井芳郎著

ISBN 4-88713-427-4 C3032 [2002] A5・112頁・800円

それは国家の恣意的な武力行使を誘う暴挙ではなかったか？精細な国際法的思考による問題総括。

【主要目次】 1 国際社会はテロに対してどのように対処してきたか 2 テロに対して自衛権は発動できるか 3 安保理事会はアフガニスタンに対してどのような態度をとってきたか 4 被疑者をどのように裁判し処罰するのか 5 対アフガニスタン攻撃は世界秩序をどこに導くか-結びに代えて

医師・看護師の有事行動マニュアル[第2版]

医療関係者の役割と権利義務

井上忠男著

ISBN 978-4-7989-0058-2 C0031 [2011] 四六・152頁・1200円

武力紛争時、傷病者の救命・治療にあたる医師・看護師のため、激動の世界情勢下必須の手引書。

【主要目次】 1. 武力紛争と医療関係者 2. 武力紛争時の法の適用関係 3. 医療関係者の定義と役割 4. 医療関係者の保護 5. 医療関係者の権利と義務 6. 医療関係者の業務 7. 赤十字標章の使用と管理 8. 国、自治体の責務 9. 武力紛争時の基礎知識 巻末資料

解説 赤十字の基本原則[第2版]

J. ピクテ著 井上忠男訳

ISBN 978-4-88713-983-1 C0031 [2010] A5・136頁・1000円

赤十字はじめ全ての人道機関に通じる基本理念と行動原則を詳細に解説し激動の現代世界に贈る。

【主要目次】 訳者はしがき 赤十字の基本原則の宣言 序文 1. 人道 2. 公平 3. 中立 4. 独立 5. 奉仕 6. 単一 7. 世界性 著書目録 訳者による解説

赤十字標章ハンドブック

井上忠男編訳

ISBN 978-4-88713-976-3 C3032 [2010] A5・664頁・6500円

赤十字標章の適切な運用のために関連国際条約と関連諸規則及び主要な解説を網羅した最新文献集。

【主要目次】 本書を活用する前に 第1編 赤十字標章に関する国際文書 第1部 ジュネーブ諸条約ほか 第2編 赤十字標章に関する国内文書 第1部 赤十字標章の使用を制限する規定ほか 資料：赤十字・赤新月標章の描き方 その他の主な国際特殊標章

海上武力紛争法

サンレモ・マニュアル解説書

人道法国際研究所著

ISBN 4-88713-276-X C3032 [1997] A5・272頁・2500円

陸戦のジュネーブ条約に比すべき重要文献を、その法源、具体的適用等全てにわたり解説した必携書。

【主要目次】 序説 第1部 総則 第2部 作戦海域 第3部 基本的規則と攻撃目標の区別 第4部 海上における戦闘の方法と手段 第5部 攻撃に至らない措置 第6部 被保護者、衛生輸送手段および衛生航空機

PKO法理論序説

柘山堯司著

ISBN 4-88713-221-2 C3032 [1995] A 5・272頁・3800円

繰り返し問われる国連平和維持活動の法的根拠を、戦後の初期活動の事例を分析し明文化を図る。

〔主要目次〕 1. ギリシャ問題と事実調査権の法理 2. パレスチナ戦争と国連休戦監視機構 3. 朝鮮戦争と国連の介入 4. スエズ紛争と第1次国連緊急軍 5. コンゴ紛争と国連の介入 6. 西イリアン問題と国連の暫定統治 7. キプロス紛争と国連の介入 8. 第3次中東戦争と同意原則 9. 第4次中東戦争と国連 10. レバノン紛争と国連の介入 ほか

スレブレニツァ

あるジェノサイドをめぐる考察

長有紀枝著

ISBN 978-4-88713-885-8 C3032 [2009] A 5・424頁・3800円

ボスニア紛争下に行った「戦後欧州最大の虐殺」を人間の安全保障の視点から徹底分析・考察。

〔主要目次〕 第1部 ジェノサイド概念をめぐる考察 1. ジェノサイドとは何か 第2部 スレブレニツァ・ジェノサイド 2. スレブレニツァで何が起きたのか 3. スレブレニツァの陥落 4. スレブレニツァ・ジェノサイドの特徴と発生メカニズム 第3部 ポスト冷戦期のジェノサイドの比較研究 5. ルワンダ、ダルフルとスレブレニツァ 6. ジェノサイドの予防に向けて

国際刑事裁判所

最も重大な国際犯罪を裁く

村瀬信也・洪恵子共編

ISBN 978-4-88713-810-0 C3032 [2008] A 5・376頁・4200円

残虐行為の根絶を目指す国際社会の合意の結晶＝ICCの意義・機能・問題点等、包括的に分析。

〔主要目次〕 1. 国際刑事裁判権の意義と問題 2. 国際刑事裁判所における管轄権の構造 3. 国際刑事裁判所の事項的管轄権の対象 4. 国際刑事裁判所の刑事手続の特質 5. ICCにおける被害者の地位 6. 国際刑事裁判所に対する国家の協力 7. 国際刑事法の文脈から見た国際刑事裁判所 8. 日本と国際刑事裁判所

東京裁判、戦争責任、戦後責任

大沼保昭著

ISBN 4-88713-738-7 C3032 [2007] 四六・368頁・2800円

未だに日本の責任が問われ続けるのはなぜか？『東京裁判から戦後責任の思想へ』の好評後継書。

〔主要目次〕 第1部 東京裁判、戦争責任、戦後責任-その思想的意義 第2部 戦後責任にかかわる具体的問題-教科書検定、サハリン残留朝鮮人、戦後補償、「慰安婦」、靖国問題

「慰安婦」問題とアジア女性基金

大沼保昭・下村満子・和田春樹編

ISBN 4-88713-303-0 C3032 [1998] 四六・272頁・1900円

この問題に対する「基金」の立場と活動の実際を伝えると共に、「基金」反対を含む全見解を一冊に凝集。

〔主要目次〕 1. 「慰安婦」問題とは何か 2. アジア女性基金関係者と拠金者の声 3. 「慰安婦」問題の法を知ろう 4. 基金のやってきたこと 5. 「慰安婦」にされた人々とその肉親の声 6. 「慰安婦」問題をめぐるさまざまな声 7. こころを下さいー基金からの訴え

現代国際法叢書

法と力

国際平和の模索 寺沢一著作集

寺沢一著

現代国際法叢書

ISBN 4-88713-616-1 C3032 [2005] A 5・416頁・5200円

学会レビュー論文「血讐論」はじめ故教授の主張・立場をよく表す単行本未収録の遺稿を厳選収録。

〔主要目次〕第1部 国際法と強力(血讐論 国際紛争と強力復仇制度の成立) 第2部 国際平和と安全保障(地域主義の偏向 新安保条約の逐条解説 ほか) 第3部 思索の原点-法・事実・人間(ゲオルグ・イエリネック『一般国家学』における「類型」考 ケルゼン「法を通しての平和」(紹介) ほか)

国際「合意」論序説

法的拘束力を有しない国際「合意」について

中村耕一郎著

現代国際法叢書

ISBN 4-88713-459-2 C3032 [2002] A 5・224頁・3000円

法と政治の間隙を埋める手段として、とみに重要性を増すこの種合意に関する初の本格的な研究。

〔主要目次〕1. 対象と概念 2. 法的拘束力を有しない国際「合意」の類型 3. 国際約束との区別の認識と形式面における具体的な差異化 4. 内容面での違い(法的拘束力と法的効果) 5. 国際関係における法的拘束力を有しない国際「合意」の機能 6. 国際約束との差異及びその相対性 7. 結びとして

国際社会と法

高野雄一論文集1

高野雄一著

現代国際法叢書

ISBN 4-88713-342-1 C3032 [1999] A 5・224頁・4300円

国際法学の進展に即し、人権、紛争解決、平和条約等、現代の諸問題を的確に論考。待望の論文集。

〔主要目次〕まえがき(大沼保昭) 1. 主権と現代国際法 2. 現代国際社会の特質 3. 国際人権規約における人権保障と差別禁止条項 4. 外交関係条約と司法的紛争解決条項 5. 日中平和友好条約のあとさき

集団安保と自衛権

高野雄一論文集2

高野雄一著

現代国際法叢書

ISBN 4-88713-343-X C3032 [1999] A 5・352頁・4800円

いま新たに浮上したこの問題に対する原点からの照射。国際法学の立場から緻密かつ実証的に論考。

〔主要目次〕まえがき(大沼保昭) 1. 国際連盟と国際連合の集団安全保障 2. 地域的安全保障と集団的自衛 3. 国際連合の集団保障の下における地域的取極の機能 4. 「平和のための結集」決議 5. いわゆる平和維持活動について 6. 日米安保条約と国際連合憲章との関係 7. 憲法第九条

国際法における承認

その法的機能及び効果の再検討

王志安著

現代国際法叢書

ISBN 4-88713-326-X C3032 [1999] A 5・368頁・5200円

最近の実例に基づき、現代における国家承認の法と効果を、精細かつ実証的に検証・論考した労作。

〔主要目次〕I部 国家形成と承認制度の法的機能：1. 序論 2. 伝統的国際法における国家形成と承認 3. 組織化された国際社会での国家形成と承認、他2章 II部 政府承認の法構造の変容：6. 序説 7. 台湾の法的地位と政府承認 8. 集約的不承認政策の新たな展開、他1章

法律（国際私法・国際取引法他）

国際民事訴訟法・国際私法論集

高桑昭著

ISBN 978-4-7989-0079-7 C3032 [2011] A 5・504頁・6500円

グローバル化と共にますます増加する国際民事に関する、著者40年の蓄積から成った充実の論文集。

【主要目次】第一部 国際民事訴訟法 1. 国際民事訴訟法 2. 外国等に対するわが国の民事裁判権 3. 国際民事裁判管轄権 4. 外国人及び外国の社団・財団の当事者能力 5. 渉外的民事訴訟事件における送達と証拠調 ほか 第二部 国際私法 10. 法例修正案に関する参考書と理由書 11. 海事法律関係と法例の適用 ほか

グローバル企業法

井原宏著

ISBN 978-4-7989-0078-0 C3032 [2011] A 5・368頁・3800円

グローバル化過程で企業が直面する法的課題を詳細に考察。実務家、研究者、学生必読の体系書。

【主要目次】1. 企業の海外進出 2. 国際事業提携の形成と構造 3. 国際事業提携の運営と管理 4. グローバル企業グループの形成と構造 5. 子会社の海外における事業活動と法的責任 6. 親会社のコントロールと法的責任 7. グローバル企業に対する法的規制 8. グローバル企業のガバナンス(1) 9. グローバル企業のガバナンス(2) 10. グローバル企業のガバナンス(3)

判例ウィーン売買条約

井原宏・河村寛治編

ISBN 978-4-7989-0009-4 C3032 [2010] A 5・544頁・4200円

今やグローバルスタンダードの地位を確立した同条約の一層の理解と活用のため不可欠の判例集。

【主要目次】1. 適用範囲 2. 契約締結前の予備的合意 3. 契約の成立 4. 契約の方式 5. 物品の瑕疵に関する売主の義務 6. 売主の引渡義務 7. 危険の移転 8. 買主の支払義務と引渡受領義務 9. 買主の検査・通知義務 10. 不履行の免責と事情変更 11. 将来の履行の不安に対する救済方法 他6章

イギリス債権法

幡新大実著

ISBN 978-4-88713-994-7 C3032 [2010] A 5・256頁・3800円

大陸法に比べ紹介不十分だった同法的全貌を独自の歴史と思考様式を通じ詳論した格好の手引書。

【主要目次】1. 本書のねらい 2. イギリス法の成り立ち 3. イギリス法制史の時代区分 4. 本編に入るにあたって 5. 比較法 6. コモンローの4つの意味 7. 第一義的な法源としての判例法 8. 裁判所におけるイギリス流の法源解釈 9. イギリス流の法学と法文獻 補章 10. 侵害とイギリスと不法行為作法の歴史 第11章 過失 ほか

教材 憲法・資料集

清田雄治編

ISBN 4-88713-250-6 C3032 [1996] A 5・304頁・2900円

憲法の基本理念を理解し、物事を自ら判断しうる精神を育むため編まれた教材。教養課程に最適。

【主要目次】1 判例編(京都君が代訴訟第一審判決 砂川事件最高裁判決 長沼事件第一審判決 ほか) 2 資料編(近代憲法と権利宣言 平和主義 校則の実態 ほか) 3 法令編(日本国憲法 大日本帝国憲法 皇室典範 ほか)

——シリーズ制度のメカニズム——

イギリスの司法制度

幡新大実著

シリーズ制度のメカニズム5

ISBN 978-4-88713-889-6 C3032 [2009] 四六・272頁・2000円

多様かつ豊富な歴史・経験を有する英国の司法制度を平易に解説。司法改革下日本に極めて有意義。

(主要目次) 第1部 制度 1.連合王国のつくり 2.裁判所制度 3.裁判官制度 4.法曹制度 5.高等法院 6.県裁判所、刑事法院、治安判事裁判所 第II部 メカニズム 7.民事訴訟改革 8.コモンロー裁判例(陪審裁判と司法審査) 9.エクイティ裁判例(連帯保証と担保権の実行)

フランスの政治制度

大山礼子著

シリーズ 制度のメカニズム4

ISBN 4-88713-665-X C3031 [2006] 四六・192頁・1800円

英米等より比較的未紹介だったその全貌を、日本の現状を視野に的確な論述した、格好の入門書。

(主要目次) 1.政治制度史概観 2.第五共和制の枠組み 3.大統領と首相 4.議会 5.憲法院 6.選挙と政党 7.地方自治

衆議院

そのシステムとメカニズム

向大野新治著

シリーズ 制度のメカニズム2

ISBN 4-88713-431-2 C3331 [2002] 四六・192頁・1800円

理念や仕組みの解説に終始する類書を抜き、その政治機能性を大きくクローズアップした入門書。

(主要目次) 1.議会とは何か 2.二院制 3.政治の舞台としての議会システム 4.審議の混乱と善後処理 5.衆参両議院の関係 6.国政調査権 7.国会のスケジュール

アメリカ連邦最高裁判所

大越康夫著

シリーズ 制度のメカニズム1

ISBN 4-88713-430-4 C3332 [2002] 四六・208頁・1800円

国の存立に関わる重要争点にどう対処してきたか?その政策形成機能の実態と限界を鋭利に追求。

(主要目次) 1.ある逆差別違憲訴訟 2.最高裁の歴史 3.最高裁の役割 4.判事任命 5.日米最高裁比較論 エピソード 2000年大統領選挙と最高裁

国際関係

環境と開発のためのグローバル秩序

毛利勝彦編著

ISBN 978-4-88713-842-1 C3030 [2008] A 5・296頁・2700円

環境問題をグローバルな協調の源泉とするために領域横断的な知見を縦横に展開した具体的緊急提言。

(主要目次) 第1部 環境と開発をめぐるグローバル秩序(多国間環境協定の現状と課題 第2部 環境と開発のガバナンス(気候変動問題と次期枠組みの構築 第3部 新しい秩序のエージェント(アフリカと「国際秩序」―草の根の視点から 第4部 環境と開発のインターフェース

社会的責任の時代

企業・市民社会・国連のシナジー

功刀達朗・野村彰男編著

ISBN 978-4-88713-823-0 C3032 [2008] A 5・304頁・3200円

世界の持続的平和と開発のため今や不可欠な、分野の枠を超えた多様なアクターの協働につき詳述。

(主要目次) 序章 グローバル公共政策の戦略とリーダーシップ 1章 平和構築への企業の貢献 2章 軍縮の担い手としての市民社会 3章 国連平和活動へのビジネスの参画 4章 格差と環境危機が求める経営革新 5章 日本企業の伝統とGCの普遍的原則 6章 金融が仲介する官民パートナーシップ 7章 ISO26000(社会的責任規格)策定とその意義 他8章

国連と地球市民社会の新しい地平

功刀達朗・内田孟男編著

ISBN 4-88713-727-3 C3032 [2006] A 5・352頁・3400円

国家だけでなくNGOをはじめ多様なアクターとともに、未来世界の構築に挑む国連の新たな対応。

(主要目次) 第1部 変動期の国連―挑戦と対応 第2部 多様化するアクター 第3部 企業とのパートナーシップ 第4部 地球環境への取り組み 第5部 紛争解決へのイニシアティブ

国際NGOが世界を変える

地球市民社会の黎明

功刀達朗・毛利勝彦編著

ISBN 4-88713-702-8 C3032 [2006] A 5・240頁・2000円

国家・企業型社会を超えた未来への展望を孕む初のNGO学テキスト。研究者・実務者共同執筆。

(主要目次) 第1部 国際関係から見たNGO 第2部 国際NGOと地球的問題群 第3部 国際NGOとグローバル・ネットワーク

ケースで学ぶ国際開発

山口しのぶ・毛利勝彦・国際開発高等教育機構編

ISBN 978-4-7989-0074-2 C3036 [2011] A 5・272頁・2600円

各種の予期しない事態を取り入れた、開発援助を志す人にとって必須の事前研修用ケースブック。

(主要目次) なぜケースで国際開発を学ぶのか どのようにケースで国際開発を学ぶのか 1 それでも続けなければならない理由はあるのか 2 「もう援助はいらない!」 3 中東における教育支援 4 経済移行国における国際連携とは 5 生活スタイルを変えることは可能か 他12章

国際関係入門

共生の観点から

黒澤満編著

国際共生研究所叢書 2

ISBN 978-4-7989-0067-8 C1031 [2011] 四六・208頁・1800円

もはや国家のみが主体ではあり得ない国際関係を、共生の視点から分析する国際共生指南の書。

(主要目次) 1. 国際の平和と安全保障(黒澤満) 2. 市民社会・NGOと平和(奥本京子) 3. 人権保障のメカニズム(香川孝三) 4. 主要な人権問題(元百合子) 5. 地球環境問題へのアプローチ(西井正弘) 6. 開発援助のアプローチ(前田美子) 7. 国際経済のグローバル化(崔大龍) 8. 文化の捉え方と国際共生(馬淵仁)

エティック国際関係学

奥田宏司・佐藤誠・原毅彦・文京洙編

ISBN 978-4-7989-0051-3 C3031 [2011] A 5・296頁・2400円

現代の国際関係が孕む新たなアクチュアルな問題群に、深化した理論の眼で肉薄する本格的入門書。

【主要目次】 1. 変わりゆく国際社会と国際関係学の課題 2. 世界の資本主義体制の変遷 3. 「文化」とは何だろう 4. 戦争と平和から見た国際関係 5. グローバル化時代の政府間関係 6. 地球環境問題と国際関係 7. 民主主義の民主化と越境する市民社会／社会運動 他6章

人間の安全保障

世界危機への挑戦

佐藤誠・安藤次男編

ISBN 4-88713-579-3 C3032 [2004] A 5・368頁・3800円

今日の世界激動に応じ、従来型の国家安全保障を超え人間を守る新たな営為・組織の地球的展開。

【主要目次】 第1部 人間の安全保障をめぐる理論的課題 第2部 人間の安全保障と外交政策 第3部 グローバリゼーション・紛争・人間の安全保障

ニューフロンティア国際関係

安藤次男・奥田宏司・原毅彦・本名純編

ISBN 4-88713-670-6 C3032 [2006] A 5・288頁・2300円

激動する現代国際社会の実態と直面する問題群を、11章にわたりヴィヴィッドに追求した新テキスト。

【主要目次】 1. 国際関係学の構築へ 2. 世界の資本主義体制の変化 3. 「文化」の変化、変化の文化 4. 自衛のための戦争、人道のための戦争 5. 現代の平和 6. グローバル化時代の環境危機 7. 開発途上国の開発と人権 8. 情報化社会 9. ヨーロッパ統合 10. 世界の中の日本経済 終章 国際社会の中の日本とアジア

クリティーク国際関係学

関下稔・永田秀樹・中川涼司編

ISBN 4-88713-394-4 C3032 [2001] A 5・240頁・2200円

全ての問題がグローバル化する現代世界の特質と課題を国際関係学の視座から多面的に分析・解明。

【主要目次】 1. 国際関係学への招待 2. 現代の紛争と核兵器拡散 3. 国家とNGO 4. 人権の国際化と日本 5. 「IT革命」とグローバリゼーション 6. 貧困問題と日本の経済協力 7. 世界の食料・農業と関係問題 9. グローバル時代の報道とマスメディア 終章 国際関係学の未来、他2章

プロブレマティーク国際関係

関下稔・小林誠・南野泰義・山形英郎・森岡真史編

ISBN 4-88713-240-9 C3030 [1996] A 5・240頁・2000円

複雑な現代の国際関係を理解するには、多角的・多面的なアプローチが必要。最新成果の新テキスト。

【主要目次】 1. 国境の向こうへ、世界へ 2. ネイション、ナショナリズム、エスニシティ 3. 他者理解としての異文化理解 4. 国際連合と平和の維持 5. 資本は国境を超える 6. 近代工業化と南北問題 7. 地球環境と現代世界 8. 地球時代のジェンダー、他2章 [付] 年表・資料ほか

太平洋島嶼諸国論

小林泉著

大平正芳賞受賞

ISBN 4-88713-188-7 C3032 [1994] A 5・320頁・3495円

この地域に関する初の総合的研究。従来の欠を補い日本の将来に不可欠な知識・情報を網羅した労作。

【主要目次】 1. 島嶼国際関係論（日本から見た太平洋時代、他5節） 2. 島嶼国家形成論（オセアニアの地誌、他4節） 3. 島嶼社会経済構造論（経済自立の構造、他4節） 4. 島嶼国援助論（日本のODA理念、他3章） 島嶼諸国研究の手引き 島嶼諸国案内、ほか

政治

「帝国」の国際政治学

冷戦後の国際システムとアメリカ

山本吉宣著

第8回 読売・吉野作造賞受賞

ISBN 4-88713-705-2 C3031 [2006] A 5・448頁・4700円

今日唯一の超大国米を「帝国」とみなし、豊富な資料の下その世界統御の構造を体系的に論究。

(主要目次) 第1部 冷戦後アメリカの国際政治理論と思想の展開 (冷戦後アメリカの国際政治理論の展開 ほか) 第2部 帝国システムの理論的基礎 (影響力関係と国家間関係の類型 ほか) 第3部 アメリカの帝国システム-素描 (アメリカのインフォーマルの帝国システム ほか) 第4部 結語 (帝国システムと国際システムの将来)

アメリカの介入政策と米州秩序

複雑システムとしての国際政治

草野大希著

ISBN 978-4-7989-0085-8 C3031 [2011] A 5・528頁・5400円

介入を通じて作られる国際秩序の複雑なダイナミクスを米国の介入政策等の事例から考察・解明。

(主要目次) 序章 複雑システムによる国際政治の総合的理解 第1部 現代国際政治理論の関係づけと体系づけ-ネオリアリズム、ネオリベラリズム、コンストラクティビズムの総合化を目指して 第2部 アメリカの介入政策によって始まる20世紀初頭の米州秩序の形成と展開-複雑システムによる仮説の設定と事例による検証

国際開発協力の政治過程

国際規範の制度化とアメリカ対外援助政策の変容

小川裕子著

ISBN 978-4-7989-0037-7 C3031 [2011] A 5・296頁・4000円

従来の開発経済学に依る途上国開発の内容検討から、米国を実例に援助国側政策の政治学的分析へ。

(主要目次) 序章 国際開発協力の国際政治学的アプローチ 1. 国際開発規範一定義と動態 2. 規範主導国アメリカ 3. 成長規範の拡散と国際開発庁の設立 4. 貧困規範の利用による国際開発庁の再生 5. G・W・ブッシュ政権を制約する貧困規範 終章 国際開発協力研究の発展に向けて

オバマは政権はアメリカをどのように変えたのか

支持連合・政策成果・中間選挙

吉野孝・前嶋和弘編著

ISBN 978-4-88713-993-0 C3031 [2010] A 5・256頁・2600円

高まる「失速」の声にどう立ち向かうのか。初動一年半。中間選挙直前の的確な状況分析と評価。

(主要目次) 第1部：支持連合と政治運営 第2部：政策の動向と成果 第3部：評価と展望

2008年アメリカ大統領選挙

オバマの勝利は何を意味するのか

吉野孝・前嶋和弘編著

ISBN 978-4-88713-925-1 C3031 [2009] A 5・200頁・2000円

日本では十分に報道・解明されていない08年の選挙の意味と振幅を日米研究者が結集し分析・考察。

(主要目次) 第1章 背景としての政党対立 第2章 大統領予備選挙 第3章 本選挙と選挙運動 第4章 バラク・オバマの選挙戦略 第5章 宗教右派の影響力 第6章 「変化(チェンジ)」は起こったのか 第7章 分断か再統合か 第8章 結論

大杉栄の思想形成と「個人主義」

飛矢崎雅也著

ISBN 4-88713-629-3 C3031 [2005] 四六・320頁・2900円

徹底した権力批判と独自の社会的個人主義-強烈な人間性が培ったユニークな政治思想の再定義。

(主要目次) 1. 先行研究の概観と分析 2. 思想形成の過程 (‘生’の目覚め-少年時代 社会主義の一兵卒-社会主義運動への参加 監獄-自立の思想ほか) 3. 大杉栄の個人主義 (‘社会的個人主義’「個人」と「社会」-大杉栄の自我思想 当時の「文壇の個人主義者」との比較 大杉栄の個人主義 ほか)

マッキーヴァーの政治理論と政治的多元主義

町田博著

ISBN 4-88713-600-5 C3036 [2005] A 5・256頁・3800円

多元的価値観に立脚しコミュニティを基底としたユニークな政治理論の全容とその現代的意義。

(主要目次) 序章 マッキーヴァー政治理論の特質と背景
1. 民主政治論 2. ヴェーバーとマッキーヴァー 3. 国家論 4. 政治理論 5. マッキーヴァー政治理論と現代政治 6. マッキーヴァーにおける政治と社会 7. 社会理論 8. マッキーヴァーと政治的多元主義 補論1 政治的多元主義補論2 政治的多元主義者の社会観

不完全性の政治学

イギリス保守主義思想の二つの伝統

A. クイントン著・岩重政敏訳

ISBN 4-88713-484-3 C3031 [2003] 四六・192頁・2000円

常に完全をめざす革新と、常に不完全な人間性—その乖離の実態を鋭く捉えた英国保守思想の真髄。

(主要目次) 1. 保守主義の定義と初期の保守主義 2. オースタン時代の保守主義者たち 3. 革命に抗して—パーク、コウルリッジ、ニューマン(パークの政治的教義 道徳、政治、パーク解釈 ほか) 4. 保守主義と大衆社会—ディズレイリ、ソールズベリ、オークショット(ベンジャミン・ディズレイリ ソールズベリ侯=ロバート・セシル ほか)

ポスト社会主義の中国政治

構造と変容

小林弘二著

ISBN 4-88713-476-2 C3031 [2002] A 5・400頁・3800円

一党支配下の全面市場経済化—難関突破に挑むその実態を活写する、定評ある研究者の現代中国論。

(主要目次) 1. 中国政治の行方 2. 党和国家体制の構造と変容 3. 都市の統治構造と改革の行方 4. 農村の統治構造と改革の行方 5. 巨大国家における集権と分権 6. 改革開放の時代の中国軍 7. 香港返還後の「台湾問題」と中国ナショナリズムの転換

国家・コーポラティズム・社会運動

制度と集合行動の比較政治学

桐谷仁著

ISBN 4-88713-464-9 C3031 [2002] A 5・464頁・5400円

ストライキ等の「集合行動」と各国「制度」との密接な関連を分析・論証した国家—社会関係論の新展開。

(主要目次) 序. 1部 ネオ・コーポラティズムと国家—社会関係(2章) 2部 ネオ・コーポラティズムとストライキ行動(制度問題とストライキ行動、他1章) 3部 ネオ・コーポラティズムと新社会運動(政治的機会構造論と新社会運動論、他2章) 終章

入門比較政治学

民主化の世界的潮流を解説する

H. J. ウィーアルダ著・大木啓介訳

ISBN 4-88713-356-1 C3031 [2000] A 5・304頁・2900円

旧社会主義国を含む民主化と途上国の未来を見通す発展論を核に、現代世界を展望する格好の入門書。

(主要目次) 1. 比較政治学とは何か 2. 比較政治学の歴史 3. 政治発展 4. 発展主義への異論 5. 民主主義と民主化 6. 共産主義体制の将来 7. 発展途上諸国—なにが発展の実効をあげ、なにが実効をあげないか 8. これからの先進世界 9. 比較政治学は死んでしまったか—冷戦後の時代のなかで再考する 10. 結論

国際政治経済システム学

共生への俯瞰

柳田辰雄著

ISBN 978-4-88713-867-4 C3033 [2008] 四六・192頁・1800円

経済学と政治学の横断的知見の展開の下豊富な図版を駆使し新たな国際システム枠組を抽出・提示。

(主要目次) 第1部 国家と市場 1. 国家 2. 市場 3. マクロ経済学から見た国際摩擦 4. 経済発展と資本移動および経済援助 第2部 国際システム 5. 安全保障制度 6. 国際通貨制度 7. 国際貿易制度 8. アジア金融危機 9. 地域統合の動態 第3部 共生への俯瞰 10. 国際援助制度 11. 地球環境保全

相対覇権国際システム安定化論

東アジア統合の行方

柳田辰雄著

ISBN 978-4-88713-796-7 C0033 [2008] 四六・256頁・2400円

共通通貨導入を基点に東アジアの経済統合さらに政治統合への途を具体的に考察。挑戦的構想の書。

(主要目次) 1. 東アジア統合の行方 2. 欧州連合(ユアラピアン・ユニオン、EU) 3. 北米自由貿易地域 4. 差異と同一から見た国家、市場と貨幣 5. 国際政治経済システム

早稲田政治学研究

もう一つの日本政治学史

内田満著

ISBN 978-4-88713-739-4 C3032 [2007] A 5・304頁・3600円

歴史に大きな足跡を刻んだ「早稲田」の政治学研究。その衣鉢を継ぐ著者が残した最後の著作。

【主要目次】 第1部 歴史と発達 (東京専門学校時代の早稲田の社会科学 早稲田政治学略史1882～1952年 高田早苗の政治学 『太陽』主幹・浮田和民のデモクラシー論) 第2部 草創期の展開(「早稲田叢書」の世界 「文明協会叢書」の世界 草創期早稲田の評論雑誌 擬国会と早稲田政治学会) 補論 内田政治学の展開と位置

政治の品位

日本政治の新しい夜明けはいつ来るか

内田満著

ISBN 4-88713-731-8 C3031 [2007] 四六・240頁・2000円

政治家はもつと国民の心に響く言葉を！ 因らずも著者の遺言となった日本政治を憂える警世の書。

【主要目次】 1. 民主政治の原点に立ち返る (デモクラシーの祭りとしての選挙; 昔と今 選挙制度の運用とデモクラシー 名句に学ぶ政治学) 2. 政治家よ、言葉を響かせよ (政治家の言葉を考える 党首たちよ「宰相の言葉」で語れ ほか) 3 社会に先立つ一歩なるべし (早稲田と政治 社会に先立つ一歩なるべし ほか)

政治学入門

内田満著

ISBN 4-88713-697-8 C3031 [2006] 四六・208頁・1800円

現代政治のポイントをぐっと身近に引きよせ、国民の政治的判断力を養い鍛える格好の道しるべ。

【主要目次】 1 政治学とデモクラシー 2 デモクラシーの今-三つの特徴 3 デモクラシーのゼンマイとしての選挙 4 現代デモクラシーの生命線としての政党 5 「討論の大舞台」 「民衆教育と政治的論争の大機関」としての議会 6 政府の欲求に対応するための人間の知恵の発明 7 民主政治の新しい夜明けへ向けて

日本よ、浮上せよ！

21世紀を生き抜くための具体的戦略

村上誠一郎+21世紀戦略研究室

ISBN 978-4-7989-0086-5 C0031 [2011] 四六・256頁・2000円

日本の存亡がかかる全問題群に対し衆議院議員25年の著者が提示する、かつて類のない包括的指針。

【主要目次】 序 誰も本当のことを言わなくなった 第一編 日本再興へ向けて 第二編 「成長の限界」と日本経済を崩壊に導く温暖化政策 第三編 保守政治の目指すところ

最高責任論

最高責任者の仕事の仕方

大内一寛・樋尾起年著

ISBN 978-4-7989-0098-8 C1034 [2012] 四六・200頁・1800円

東日本大震災・原発事故で露呈された日本の重大欠陥-真のリーダー不在克服のための具体的方法論。

【主要目次】 序章 土下座する最高責任者 1. 最高責任者狩りの時代 2. 最高責任者の嘘と誤魔化し 3. 逃避型最高責任者への審判 4. 組織のトップとしての最高責任者 5. 最高責任の正体と責任遂行 6. 最高責任者のタブー 7. 責任の囲い込み：責任を明示する 他2章

日本型移民国家への道

坂中英徳著

ISBN 978-4-7989-0063-6 C1031 [2011] 四六・96頁・800円

50年間に1000万人受け入れの移民政策を！ 未曾有の人口減に対する起死回生の積極的改革提言。

【主要目次】 1. 序文 2. 移民国家の創建は究極の日本改革である 3. 日本型移民政策 4. 五万人の農業移民が耕作放棄地を耕地に変える 5. 移民法・社会統合法・民族差別禁止法・移民庁・移民銀行 6. 純種系民族から雑種系民族へ 7. 三カ国語を話す国民 8. 民族の心と寛容の心 9. 日本の移民政策は革命的 ほか

日本の未来社会

エネルギー・環境と技術・政策

城山英明・鈴木達治郎・角和昌浩編

ISBN 978-4-88713-951-0 C0030 [2009] 四六・256頁・2200円

新たな未来意思決定のツール=シナリオ・プランニングを駆使。気鋭の研究者による共同研究の成果。

【主要目次】 第一部 エネルギー・環境技術導入への新たな切り口 第二部 日本社会の未来とエネルギー・環境技術-シナリオ分析の応用 第三部 選択するエネルギー・環境政策に向けて

日韓比較：マニフェストで自治・国政は変わったか

曾根泰教／日韓交流国際学術大会実行委員会編

ISBN 978-4-88713-950-3 C0031 [2009] 四六・160頁・1800円

有効なマニフェストの作成、実施、評価の進め方を、日韓の代表的実践者が具体的に討論・考察。

【主要目次】1. マニフェスト政治を読み解く 2. 日韓ローカル・マニフェストの評価と展開 3. 日本および韓国・大統領選挙とマニフェストの進展 4. マニフェスト選挙における選挙管理委員会の役割 5. マニフェストの評価と発展 6. マニフェスト検証の流れを

日本ガバナンス

「改革」と「先送り」の政治と経済

曾根泰教著

ISBN 978-4-88713-845-2 C3032 [2008] 四六・480頁・2800円

日本政治最大の欠陥、ガバナンス一問題解決メカニズムの不在を常に見据え展開される時論28章。

【主要目次】序 日本ガバナンス 1. 改革のジレンマ 2. これからのわが国政治の舵取りと課題 3. 小泉首相のパラドックス 4. 「対抗ストーリー」を伝えるメディアを 5. 聖域なき構造改革のすすめ 6. 政治の構造改革を進めるために 7. 21世紀臨調が促す「政治にこそ構造改革」を 8. 制度としての首相主導 ほか

公共政策の分析視角

大木啓介編

ISBN 4-88713-746-2 C3031 [2007] A5・192頁・3400円

いま政治学分野で最も注目される公共政策研究につき、理念と実際を統合し多角的に切り込んだ意欲作。

【主要目次】1. 公共政策と公的部門の市場的経営 2. 政治参加による公共政策の形成 3. 公共政策の行政経営的展開 4. 公共政策による人材育成 5. 移植医療の公共政策 6. 公共政策分析の方法と態様

椎名素夫回顧録 不羈不奔

読売新聞盛岡支局編

ISBN 4-88713-695-1 C3031 [2006] 四六・192頁・1500円

各国要人の信頼を得て「屈指の外交通」を呼ばれた理由は何か―多くの秘話を含む貴重な回顧録。

【主要目次】1. 外交の世界で(米への密使-ロン・ヤス会談成功導く 防衛予算-米高官とのホットライン ほか) 2. 政界での日々(40日抗争-首相指名選で白票投ず ほか) 3. 父・悦三郎氏と(満州で過ごした少年時代 九死に一生を得た中学時代 ほか) 4. 特別インタビュー 5. 対談 椎名素夫VS岡崎久彦

ポリティカル・パルス

現場からの日本政治裁断

大久保好男著

ISBN 4-88713-587-4 C3031 [2008] A5・256頁・2000円

わが国政治の日々の脈動を鋭利な分析とともに伝え、大好評の英文コラムを和訳、原文と共に収録。

【主要目次】安保政策にみる「政治の責任」 政治改革を応援する民間組織 小泉首相の反主流派封じ込め作戦 衆院解散と小泉再選戦略の関係 小泉首相の「挑発作戦」の狙い 側近逮捕で傷ついた土井氏と社民党の運命 波紋広がる民主・自由の合併 防衛計画の抜本見直しを急ぐ時【ほか】

ハロー！衆議院

衆議院システム研究会編

ISBN 4-88713-550-5 C1031 [2004] B5・96頁・1000円

衆議院のしくみについて制度と運営の実態に即して、多数の図版を交えて平易に解説した入門書。

【主要目次】1. 帝国議会-わが国議会制度の発足(帝国議会の構成 帝国議会の地位と権限 ほか) 2. 国会-憲法に見るしくみ(国会の地位と性格 国会の組織 ほか) 3. 本会議のしくみ(本会議の基本原則 本会議の開会日時 ほか) 4. 委員会のしくみ(委員会制度の特徴 委員会の組織 ほか)

明日の天気は変えられないが明日の政治は変えられる

岡野加穂留著

ISBN 4-88713-531-9 C3031 [2004] 四六・256頁・2000円

もはや日本政治の病弊には緊急入院・根本治療が必要だ―独自の視角の新聞連載コラムの集大成。

【主要目次】第1部 逃げ水を追いかける-1998年10月-1999年12月 第2部 ビエロの国際舞台-2000年1月-2000年12月 第3部 政治的先祖返り-2001年1月-2001年12月 第4部 疑似(もどき)二大政党制の虚構-2002年1月-2003年2月

日本人のもうひとつの選択

生活者起点(生きかた、暮らしかた、働きかた)の構造改革

新しい日本をつくる国民会議(21世紀臨調)編

ISBN 4-88713-429-0 C3131 [2002] A 6・192頁・500円

我々生活者が主役となって従来の生き方、考え方、働き方を変えよう!真の民主主義実現への勧め。

(主要目次) 1部 提言を世に問うにあたって 2部 提言「日本人のもうひとつの選択—生活者起点(生きかた、暮らしかた、働きかた)の構造改革」 3部 それぞれの自己改革 他

政治の構造改革

政治主導確立大綱

新しい日本をつくる国民会議(21世紀臨調)編

ISBN 4-88713-428-2 C3131 [2002] A 6・272頁・650円

政治改革なくして構造改革なし—現状への強い危機意識に基づき訴える、内閣主導体制確立の提言。

(主要目次) 1. 日本政治の根本問題 2. 首相主導を支える政治構造改革のあり方 3. 選挙における国民の選択と政治主導 4. 衆院議長諮問「衆議院改革に関する調査会答申」 5. 自民党国家戦略本部・国家ビジョン策定委員会基本方針案 6. 民主党政権運営委員会「新しい政府の実現のために」

時代を動かす政治のこぼれ

尾崎行雄から小泉純一郎まで

読売新聞政治部編

ISBN 4-88713-414-2 C0031 [2001] 四六・256頁・1800円

政治の力の源泉は言葉—日本が真の言論を欠く今、時代を画した数々の言葉を、生き生きと再現。

(主要目次) 1. 冷戦の終焉と新世紀の幕開け 2. 議会政治の始まり 3. 政党の衰退、軍部の台頭 4. 占領から再生へ 5. 自社対決の時代 6. 失言、暴言、妄言 7. インタビュー録

入門 政治学

政治の理論・思想・実態

仲島陽一著

ISBN 978-4-88713-989-3 C3031 [2010] 四六・288頁・2300円

世界の複雑な政治体制や思想の解説と共に日本政治の生々しい実態を明解に書き下ろした入門書。

(主要目次) 序章 政治の本質と政治学の本質 一部 現代日本の政治 1. 選挙制度論 2. 現代日本の防衛問題 3. 現代日本の警察 4. 政治資金論 5. 政治とメディア 6. 圧力団体と大衆運動 7. 世紀末日本の政治過程 第二部 政治の思想と現実 1. 社会ダーウィニズム 2. ファシズム論 3. ソ連論 4. アメリカ「自由主義」の批判的検討 ほか

村山政権とデモクラシーの危機

臨床政治学的分析

現代臨床政治学叢書1

岡野加穂留・藤本一美編著

ISBN 4-88713-376-6 C3031 [2000] A 5・416頁・4200円

戦後史の画期をなした村山政権の意義及び全体像を、今日の政治病理への臨床的視座の下徹底的追求。

(主要目次) 1部 村山政権論: 1. 村山富市考 2. 村山内閣の歴史的位 3. 村山内閣と連立政権 4. 村山内閣と政策決定過程 5. 村山内閣と「戦争責任」問題、他7章 2部 村山政権発足の意義—村山元首相をかこむ座談会 3部 「戦後デモクラシー」を語る—岡野加穂留先生に聞く

比較政治学とデモクラシーの限界

臨床政治学の展開

現代臨床政治学叢書2

岡野加穂留・大六野耕作編著

ISBN 4-88713-404-5 C3031 [2001] A 5・448頁・4200円

日本の民主主義は病んでいる—臨床学的視座の下、地方政治を焦点に各国改革の現状と意義を追求。

(主要目次) 1部 各国の臨床政治学的分析(「臨床政治」Clinical Politics学の覚え書 公職者の報酬と汚職 クリントン政権二期目の政治課題 米国政治におけるリパブリカニズム イギリスの地方行政—イギリスと日本の地方自治の比較 他) 2部 資料編 (岡野加穂留教授最終講義)

政治思想とデモクラシーの検証

臨床政治学の基礎

現代臨床政治学叢書3

岡野加穂留・伊藤重行編著

ISBN 4-88713-463-0 C3031 [2002] A 5・368頁・3800円

13名の政治家、政治思想家を今日の視点から読み解き、近現代デモクラシーの思想の流れを検証。

(主要目次) 1. 三木武夫の政治思想と行動哲学 2. トマス・ホッブズの生涯とその思索 3. スピノザの国家論 4. ルソーの政治思想 5. バジレットの政治思想とリアリズム 6. ヒュームの党派論と国制観 7. トマス・ジェファソンの政治理論 8. ボザンケの国家論とデモクラシー 他5章

受動喫煙防止条例

神奈川発、日本初の挑戦

松沢成文著

ISBN 978-4-88713-922-0 C0031 [2009] 四六・312頁・1800円

数々の困難を克服し注目の条例制定に至るまで全て。まさに討議民主主義の深化を物語る1冊。

(主要目次) 第一部 挑戦!日本初、神奈川発の条例制定へ
1.一通のメール 2.殺到する意見 3.受動喫煙防止対策後進国「日本」ほか 第二部 実録!条例制定のプロセス
1.ねじ曲げられた真実 2.条例制定への始動! 第三部
そしてこれから 1.奇妙な論理との戦い 2.民主政治を
深化させようほか

実践マニフェスト改革

新たな政治・行政モデルの創造

松沢成文著

ISBN 978-4-88713-834-6 C0031 [2008] 四六・320頁・2300円

具体的で明確なマニフェスト推進5年間の全てを語る。松沢前神奈川県知事の実践ドキュメント第2弾。

(主要目次) 序章 政治改革とマニフェスト 1.ローカル・マニフェストの展開 2.マニフェスト改革の実践 3.マニフェストによる政策実践事例 4.マニフェスト・サイクルの具体的手法 5.「マニフェスト2007神奈川力全開宣言」の挑戦 6.マニフェスト改革の展望 資料 松沢神奈川県政及びマニフェスト年表 マニフェスト2007神奈川力全開宣言

実践ザ・ローカル・マニフェスト

松沢成文著

ISBN 4-88713-608-0 C3031 [2005] 四六・224頁・1238円

マニフェスト作成の手順等、本物の民主主義創造をめざす前神奈川県知事の第1期全行程実践記録。

(主要目次) 1.新たな政治改革の広がり求めて(マニフェストとは何か? ローカル・マニフェストって何?ほか) 2.実践ローカル・マニフェスト(作成編 選挙編ほか) 3.政策実践実例(「首都圏連合の実現へ」「地域経済の再生」ほか)
4.ともに民主政治の「ゲーム」を変えよう(ローカル・マニフェストの新展開ほか)

新・台所からみた政治

父義広・たつの、時代と生

船木たつの著

ISBN 978-4-7989-0061-2 C0031 [2011] 四六・272頁・1600円

一人の主婦が偶然の縁から政治に目覚めてゆく過程を描く、民主主義の原点を示す感動の手記。

(主要目次) 第I部 台所からみた政治—松沢成文代議士とともに 苦楽を共にして(松沢成文) 1.第一回神奈川県議会議員選挙ほか 第II部 国会議員から県知事へ『新・台所からみた政治』の出版に寄せて(松沢成文) 1.松沢しげふみ神奈川県知事選挙ほか 第III部 わが父義広の生涯

現代臨床政治学シリーズ

ティーパーティー運動

現代米国政治分析

藤本一美・末次俊之著 現代臨床政治学シリーズ7

ISBN 978-4-7989-0083-4 C3031 [2011] 四六・232頁・2000円

新たな保守的草の根運動はアメリカをどう変えるのか？ 注目の運動の理念・組織等を簡明に解説。

〔主要目次〕はじめにー米国のリベラルと保守 序章ー米
国政治の新局面？ 2. ティーパーティー運動の起源・組織・
理念 3. 「中間選挙」とティーパーティー運動 4. ティー
パーティー運動の光と影 終章 大統領選挙とティーパー
ティー運動

海外直接投資の誘致政策

インディアナ州の地域経済開発

邊牟木廣海著 現代臨床政治学シリーズ6

ISBN 978-4-88713-935-0 C3333 [2009] 四六・224頁・1800円

海外直接投資の誘致政策をいかに成功へ導くかー豊富
な具体例から分析する、グローバル時代必読書。

〔主要目次〕1. 州政府の財政破綻と保守化 2. 海外直接投資
が集中した1980年代以降の党派政治 3. 州政府と地域の協
働 4. 海外直接投資の進出プロセス 5. 日系進出企業の行
動様式 資料

ルソーの政治思想

根本俊雄著

現代臨床政治学シリーズ5

ISBN 978-4-88713-780-6 C3031 [2007] A5・224頁・2000円

時代の思想的・文化的危機に常に甦るルソーーそ
の思想力を原点から見つめ直す格好の入門書。

〔主要目次〕1. 人間性の回復をめざして、2. 祖国に生きる、
3. ルイー四世の親政、4. ルソーの思想形成、5. 宗教思想、6. 教
育思想ー子供の発見、7. 自由の原理、8. 祖国愛の形成、9. 国家
の特質、10. 人民の声は神の声、第11章 立法者ー国家の建設者

ネブラスカ州における一院制議会

藤本一美著

現代臨床政治学シリーズ4

ISBN 978-4-88713-779-0 C3031 [2007] A5・176頁・1600円

その実態の研究から二院制議会との比較や理論的問
題点まで及ぶわが国への大きな示唆に富む労作。

〔主要目次〕1. 米州議会の一院制ーネブラスカ州の試み
2. 一院制州議会の構造と機能 3. ジョージ・W. ノリスの思想
と行動ー「一院制州議会」の推進者 4. ネブラスカ州政治と
「2006年中間選挙」

象徴君主制憲法の20世紀的展開

日本とスウェーデンとの比較研究

下条芳明著 現在臨床政治学シリーズ3

ISBN 4-88713-605-6 C3031 [2005] 四六・208頁・2000円

日本とスウェーデンの象徴君主制憲法の比較・分
析に見る、現代における君主制の課題と可能性。

〔主要目次〕君主制と民主主義ー象徴君主制憲法論への視座
第1部 スウェーデン象徴君主制憲法編(スウェーデン象徴君
主制憲法の成立と構造 スウェーデン象徴君主制憲法にお
ける国家元首制 ほか) 第2部 象徴天皇制憲法編(象徴天
皇制憲法の条件 象徴天皇制憲法の戦後の定着と「象徴」と
しての天皇の行為 ほか)

アジアと日本の未来秩序

伊藤重行著

現在臨床政治学シリーズ2

ISBN 4-88713-554-8 C3031 [2004] 四六・224頁・1800円

今日日本に不可欠な哲学・理論・政策とは？独自の
視角から21世紀の政治のあり方を縦横に論考。

〔主要目次〕第1部 人間を見る目(永遠なる人間との出会いー
長谷川光二 ほか) 第2部 二一世紀の思想を見る目(シス
テムの存在論(Systems Ontology) ほか) 第3部 アジアを
見る目(北東アジアの秩序と安全保障機構の形成 ほか)
第4部 日本を見る目(日本の国営企業の公共事業の政治学
ほか)

経済・経営

ドラッカーの警鐘を超えて

坂本和一著

ISBN 978-4-7989-0084-1 C3034 [2011] 四六・288頁・2500円

今日の混迷突破にも必須のその「すでに起こった未来」を認識する力とは？新たな視点から考察。

(主要目次) 1. 「すでに起こった未来」を認識せよ 2. 「マネジメント」はいかにして「発明」されたか 3. 「イノベーション」はいかに「発明」されたか 4. 経営戦略は常に陳腐化のおそれがある 5. 経営危機は「事業の定義」を疑え 6. 公的サービス機関のイノベーションをいかに進めるか 7. 結びに

中国所有権改革の研究

徐春陽著

ISBN 978-4-88713-847-6 C3036 [2008] A5・208頁・2800円

国営企業における所有と経営分離の実態は？現地事例研究に見る社会主義市場経済の新たな可能性。

(主要目次) 序章 問題設定 1. 中国国営企業の組織特性と産権 2. 国営企業改革における産権改革の位置 3. 国営企業改革とその社会的帰結 4. 産権改革とコーポレート・ガバナンス 5. 産権改革過程の事例研究 6. 産権改革と地方政府の役割 終章 産権改革と社会主義公有制

経済学の方向転換

広義の経済学事始

関根友彦著

ISBN 4-88713-224-7 C3033 [1995] A5・256頁・3700円

マルクス・宇野・玉野井らの理論を通じ、理論経済学での令名高い著者が新たな経済学への展望を拓く。

(主要目次) 第1部 広義の経済学を求めて 第2部 マルクス・ポランニー・宇野の遺産 第3部 玉野井理論の地平 第4部 生命系に根ざす経済学の展望

摩擦から協調へ

ウルグアイラウンド後の日米関係

中川淳司・T. J. ショーエンバウム編著

ISBN 4-88713-397-9 C3032 [2001] A5・384頁・3800円

両国の研究者・専門家・実務家が、熾烈な討論を通じ共通了解を構築し、さらに適切な政策提言を行う。

(主要目次) 序 日米関係の歩みと課題 I 総説 II 事例研究 III 日米経済紛争の解決手続・制度 IV 日米経済関係の将来 おわりに